



自己改革の実践状況

～組合員の営農とくらしをより良くするための改革をめざして～

J Aの自己改革の目的は、組合員皆さまの営農とくらしをより良くするための改革でなければなりません。組合員皆さまの声を、農協の各事業の改善に反映させていくことが、真の自己改革に繋がっていくものと考えています。これからも、組合員の皆さまと共に改革を推進し、地域農業の発展と農家組合員の所得向上に努めてまいります。

持続可能な循環型農業の確立と生産・販売対策の強化

水田フル活用と循環型農業を柱とした持続可能な地域農業を確立します



水稲においては高温耐性品種の優位性の周知を図り、現地講習会を各地区で実施しました。平成30年産のつや姫、にこまる、なつほのかについては**全て1等米**となりました。また、『つや姫プレミアム米』の区分集荷による販売単価向上にも取り組みました。

園芸においては水田フル活用と集落営農法人の経営多角化へ向けて、『高菜』の本格的な実証栽培を実施し、今後の振興に繋がる成果が得られました。また、実需者との契約販売により生産者の安定した所得確保に努めました。

繁殖雌牛7,000頭の早期回復を目指します

平成28年度スタートした「チャレンジ7000事業」は当初計画していた3年の事業期間が終了し、導入実績は**112頭**（3月末）、導入金額の総額は148百万円となっています。預託中止補償についても計画金額内に収まり、3年（令和3年度まで）の事業継続が決まりました。繁殖雌牛頭数は、6年ぶりに**“6000頭台”に回復**しています。

繁殖雌牛頭数の推移



集落営農法人等、多様な担い手の育成及び経営を確立します

担い手サポートセンターを支援拠点とし関係機関一体となった研修会及び相談会を実施しています。平成30年度の個別支援件数は**前年比111%**となる**228経営体**でした。また、集落リーダー育成塾等も行い、地域農業の維持・発展を目指した地域内の話し合いの啓発活動にも取り組んでいます。

農業者の所得増大・農業生産の拡大・地域の活性化

地域における役割の向上

低コスト肥料の推進により、所得の向上を目指します

コスト削減と労力軽減を目指し、牧草用元肥の新商品『のびのび牧草15』（15kg/袋）の取扱いを開始しました。



	牧草の力	のびのび牧草15	『のびのび牧草15』をおすすめする理由
1袋当たり重量	20kg	15kg	5kg軽く運び易い!
1袋当たり自己取価格(税込)	1,550円	1,436円	114円安い!
15キロ当たり窒素量	2.55kg	3.00kg	窒素成分増加!

事業・サービスの高度化

未来の地域を担う子供たちに、島の産業を担う農業の大切さを伝えます

これまでは高校生を対象に**授業で農業講話**を行っていましたが平成30年度は**中学生を対象**に行いました。

講師として、**若手花卉農家**が、農業に対する想いや農業経営を語り、将来の農業後継者へ熱いメッセージを送りました。今後も継続して取り組んでいきます。

